

高校生答辞

寒さも和らぎ、春の暖かな日差しが感じられる季節となりました。未曾有の混乱の中ではありましたが、心温まる式を挙げてくださり、ありがとうございます。先程より皆様から頂いたお祝いや激励のお言葉を胸に、本日私達71名はこの制服とともに卒業致します。

あっという間に過ぎていった毎日も、振り返るとたくさんの思い出が詰まっています。

緊張の中始まったSFC。新しい環境に少し不安を感じながらも、高校への進学に嬉しさと希望を感じていたことが思い出されます。

毎年行った北蓼科高原体験学習。最終日は疲れてくたくたになりながらも夜遅くまで友達と話したことは楽しい思い出です。

そして高校2年生の九州修学旅行。初めて見る建物や景色に感動し、美味しい料理を食べた毎日は、とても濃い一週間でした。受験前最後の大きな旅行に、少し名残惜しきを感じながらも、友達と過ごす時間を思う存分楽しむことができ、良い思い出になりました。

たくさんの経験をした3年間。もちろん楽しいことばかりではありませんでした。

今振り返ると、学習スタイルの変化に不安を感じていた頃のことを思い出されます。3年前、探究の授業が本格的に始まり、自分の意見を友達に話すことに不安を感じていました。今となっては懐かしい思い出ですが、周りのみんながどんどん上手くなっていく中、いつまでも苦手なままの自分に焦りを感じもしました。しかし、今では、自分の意見を伝えること、友達の意見を知ることにより嬉しきすら感じています。もしこの授業でなければ、クラスの友人とこれほどまでに深い話をするのは無かったと思います。こうして様々な考えを持つ仲間と語り合えたことは、私の宝物です。

この3年間、多くの方に支えいただき、応援していただきました。私たちの話をいつも聞いてくださった先生方。興味があるとお話しすると、読み切れないほどたくさんの本を貸してくださった先生、廊下で声をかけて、楽しい話で塞ぐ気持ちを紛らわせてくださった先生、細かいところまで気にかけて下さり、私自身、気づいていなかった長所を見つけてくださった先生。私たちに親身に寄り添って指導してくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

そして、毎日私たちの体調を気遣い、サポートしてくれた家族。学校での楽しかったことも大変だったことも、たくさん聞いてくれました。卒業の日を迎えた今、両親に一番伝えたいことがあります。私はこの学

校に入学して本当によかったです。この学校でいい友達や先生に出会って、貴重な経験をすることが出来ました。この学校に通わせてくれてありがとうございました。これからは一緒に過ごす時間が少なくなっていくけれど、これからも変わらず応援しててください。

そして、在校生の皆さん。本来ならば直接、感謝の思いをお伝えすべきですが、仕方ありません。

学年の隔てなく、仲の良いみなさんのおかげで、多くのことを話すことが出来ました。これから皆さんは様々な変化に戸惑うこともあるかもしれませんが、そうした時はいつも自分に自信を持って立ち向かって欲しいと思います。自分のした選択は正しいと信じて努力すれば自然といい方向に向かうものです。これからも皆さんの明るさと優しさでさらに素敵な取手聖徳を創ってってください。

最後になりましたが、私たちの学校生活を支えてくださった全ての方に感謝すると共に、聖徳学園のさらなるご発展をお祈りし、答辞と致します。

令和2年3月5日

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
第35回卒業生代表